



学校新聞『太陽』の発行に寄せて

日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

本校は、今年度「創立50周年」を迎え、児童生徒並びに教職員一同にとりましても、大きな喜びであり、共に『50年のあゆみ』をお祝いしてまいりました。

折にふれて、この『50年のあゆみ』を振り返るとき、その道のりにおいては、平成10年8月27日に発生した「8.27豪雨災害」、平成23年3月11日に発生した「3.11東日本大震災」と、大きな自然災害により、学校周辺地域にも甚大な被害もたらされ、通常の教育活動を行えない状況も乗り越えてきました。本年が明け、1月1日に発生した「能登半島地震」の甚大な被害の状況を知ると、その当時に経験した震災の状況と重なるものがあり、他人事ではない、非常に身近に感じるものがあります。児童生徒、教職員ともに、危険や災害から身を守るための安全教育や防災教育について、学習を重ねていくことの重要性を実感しています。そして、「いのち」の大切さを知ること、自分を大切にすることについて考え、支え合い、助け合う姿や気持ちが育つよう、児童生徒に伝え続けたいと、あらためて感じています。

弥生の3月。児童生徒の皆さんにとっては、学びを積み上げて、次の第一歩を踏み出す、新たな挑戦の助走のときです。そこには、希望、期待、意欲、緊張など、複雑な気持ちのもちようは想像に余りあると感じます。私たち教職員一同にとりましては、保護者の皆様とともに、児童生徒の成長した姿を喜び合い、第一歩を踏み出す姿を見守り合い、サポートし合う、大切な時間でもあります。

そして、『50年のあゆみ』の先へ。学校は、保護者の皆様、地域の皆様とともに、また歩みを進めたいと存じます



校長 小川 令子

本校の保護者の皆様、地域の方々が安心して相談できるセンターを目指して、今年度は「地域の園や学校への相談支援・研修支援」「地域の関係機関との連携」「来校や電話による教育相談」「研修会の開催」などに取り組みました。地域における特別支援教育の充実に向けて微力をつくすことができたことと思います。これからも特別な支援を必要とする子どもたちの、就学前から卒業後までの切れ目のない支援体制を整えることができるよう努めていきたいと思っております。(相談専用 TEL : 080-7182-0863)

地域の小・中学校の先生方と学習会を行いました

特別支援教育セミナーの一環として西白河地区の小・中学校特別支援学級担任と一緒にスキルアップ学習会を行いました。「ICT機器を活用した共同学習」「個別の教育支援計画の支援目標設定」「ポッチャ体験」「より良い進路」「ケース会議」の5つのテーマごとにグループにわかれて実技を伴う学習会を行い、特別支援教育の実践に必要なスキルを高め合う有意義な機会となりました。



令和6年度居住地校交流について

交流及び共同学習の形態の一つに特別支援学校に通う児童生徒が、授業の一環として自分の住んでいる地域の小・中学校等で一緒に勉強する学習があります。くわしく知りたい方は学校までご連絡ください。

第5学年 社会体験学習

9月14日(木)に新幹線に乗り、郡山市ふれあい科学館に行ってきました。自分で切符を自動改札機に入れ、出てきたものを忘れずにとり、ホームに向かうことができました。新幹線に乗って嬉しそうでしたが、あっという間に到着し、その速さに驚いていました。ふれあい科学館ではバスボム作りをしました。指導員の方の話をよく聞いて、材料を混ぜました。館内の展示物も興味をもって見学することができました。貴重な経験ができました。



小学部



小田倉小学校との交流会

11月17日(金)に、西郷村立小田倉小学校との交流及び共同学習を本校体育館で行いました。今年度は、各班に分かれて卓球やポッチャ、お店屋さんなどの活動を通して交流しました。初めは緊張している様子でしたが、交流会が終わる頃には手を繋いだり楽しく笑い合ったりする姿が見られました。また、おわりの会では小田倉小学校の児童と一緒に「アイドル」の曲に合わせて元気よく踊ったり、一緒に身体を動かしたりと充実した交流会となりました。



中学部

川谷中学校との交流会

12月1日(金)に西郷村立川谷中学校との交流会が行われ、自己紹介や作業学習、ステージ発表を通して交流を図りました。作業学習では、生徒たちがタブレット端末や掲示物等を活用しながら製品紹介や作業工程の説明をしたり、一緒に作業に取り組んだりするなど、グループごとに交流を深めることができました。30年以上も続く、川谷中学校との交流会をこれからも大切にしていきたいと思えます。



作業学習成果品紹介

1月24日(水)・25日(木)に、ヨークベニマルメガステージ白河店様のご協力をいただき、中学部の「作業学習成果品紹介」を行いました。作業学習で自分たちが作った製品についてお客様に説明したり、お勧めの商品を紹介したりすることができました。お客様から「きれいな色ですね。」「使うのが楽しみです。」などのお言葉をいただき、自分たちの作業学習の成果に自信をもつことができた、とても有意義な体験となりました。

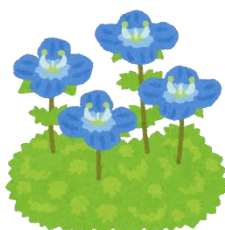


高等部



産業現場等における実習

高等部では、年に2回、企業や事業所の御協力のもと産業現場等における実習を行っています。6月の前期実習は2、3年生を対象に、11月の後期実習は1～3年生の生徒が実習をさせていただき、事業所の様子を知ったり実際の職場で働く体験をしたりすることができました。働くために必要な力や、自分自身の今後の課題について学ぶ機会となりました。



実習報告会

1月17日(水)に、3年生による実習報告会が行われました。この報告会では、3年生がこれまでの実習で頑張った点や評価された点、卒業後の目標などについて1、2年生へ向けてプレゼンテーションを行いました。1、2年生からは、進路先を希望した理由や、これから自分たちが実習に臨むにあたっての心構えなど、たくさんの質問が挙がりました。3年生は、これまで経験した実習や進路についての学習を思い出しながら、自分の言葉で1つ1つの質問に答えてくれました。

表彰

☆第68回 福島県たなばた展

特選	小学部	5年1組	吉田 恋乃
	中学部	1年1組	山田 陸人
		2年1組	鈴木 尊偉
		3年1組	芳賀沼 隼
		3年1組	舟木 爽真
	高等部	1年3組	眞田 恵
		3年3組	田口 愛菜
		3年3組	石井 生弥

☆第68回 福島県書きぞめ展

団体賞		奨励学校賞
特選	小学部	3年1組 横川 黎和
		4年2組 村井 優世
		5年1組 寺門 湊人
		5年1組 二瓶 大翔
		6年1組 澤田 風
	中学部	1年2組 本田 結士
		2年1組 鈴木 尊偉
		3年1組 廣田 風花
		3年3組 清野 絢音
	高等部	2年4組 森 颯太
		2年4組 永島 歩武
		2年4組 佐川 結美
		2年4組 平賀 真希

☆全国障害者スポーツ大会 燃ゆる感動かごしま大会

陸上競技 ソフトボール投げ 第2位 高等部2年 鈴木 大樹

☆第7回 福島県障がい者芸術作品展「きになる☆ひょうげん2023」

入選 高等部2年 永島 歩武 五十嵐 愛結

卒業おめでとう

小学部

6年間 ありがとうございました!



中学部でも がんばります!

中学部

素敵な思い出をありがとうございました!



高等部

3年生13名、人数は少なくても、コツコツと自分の目標に向かって学習や経験を積み上げてきました。現場実習やスポーツ大会では「やってみよう!」の気持ちで新たなことにチャレンジしました。テーブルマナーや消費者教育を受け、大人への一步を踏み出す準備もできました。これから新しい環境になりますが、今まで学校生活で学んだことや、みなさんと共に繋いだ絆を胸に、コツコツと頑張っていきます!たくさんの思い出をありがとうございました!

